

蕪崎市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (19年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B / A	歳出に占める職員給与 費率(D/A)	(参考) 18年度の人 件費率
	人	千円	千円	千円	%		
19 年度	31,915	12,467,267	202,559	2,083,989	16.7	11.60%	18.30%

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

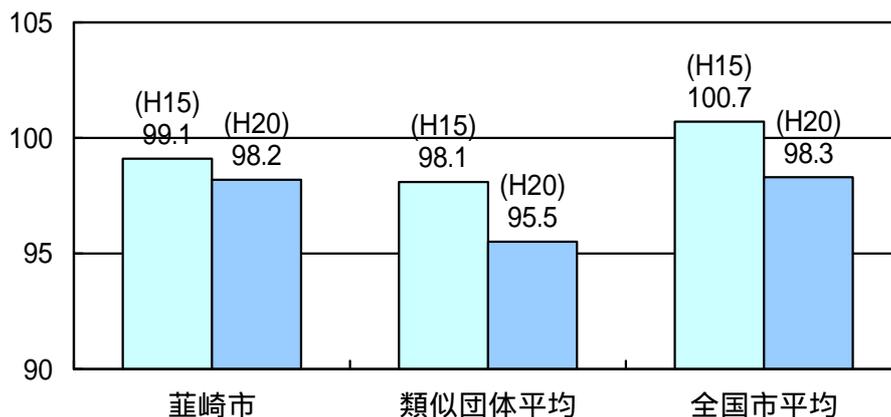
区分	職員数 C	給与費				一人当たり 給与費 D/C	(参考) 類似団体平 均一人当 り給与費
		給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計 D		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
19 年度	247	945,633	109,113	394,896	1,449,642	5,869	6,009

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数は、19年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項なし

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（20年4月1日現在）

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
蕪崎市	43.2歳	344,600円	386,316円	368,461円
山梨県	43.3歳	350,438円	419,897円	387,358円
国	41.1歳	325,113円		387,506円
類似団体	43.3歳	330,935円	375,723円	356,536円

技能労務職

区分	公務員				
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)
蕪崎市	51.11歳	42	282,455円	302,298円	288,786円
うち学校給食員	54.6歳	18	280,489円	287,300円	283,800円
うち用務員	57.9歳	3	288,267円	291,833円	288,300円
うち自動車運転手	50.5歳	2	315,900円	421,800円	334,700円
うちその他	48.4歳	19	279,879円	305,416円	288,679円
山梨県	48.8歳	237	339,952円	385,146円	361,743円
国	48.9歳	4,784	284,679円		320,623円
類似団体	47.7歳	36	294,900円	317,091円	306,447円

民間			参考	区分	参考		
類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	A/B		年収ベース(試算値)の比較		
					蕪崎市(C)	民間(D)	C/D
調理士 (山梨県)	42.7	280,300円	1.02	うち学校給食員	4,779,000円	3,805,600円	1.26
自家用兼用自動車運転手 (山梨県)	50.6	260,800円	1.62	うち自動車運転手	6,634,400円	3,427,800円	1.94
用務員 (全国)	53.9	225,900円	1.29	うち用務員	4,790,100円	3,227,400円	1.48

1「平均給料月額」とは、20年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成17～19年の3ヶ年平均)

技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況(20年4月1日現在)

区分		蕪崎市	山梨県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	178,800円	172,200円
	高校卒	140,100円	144,500円	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円	146,700円	-
	中学卒	121,600円	129,200円	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(20年4月1日現在)

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	270,200円	335,925円	377,580円
	高校卒	円	263,300円	円
技能労務職	高校卒	271,983円	276,967円	298,867円
	中学卒	円	円	円

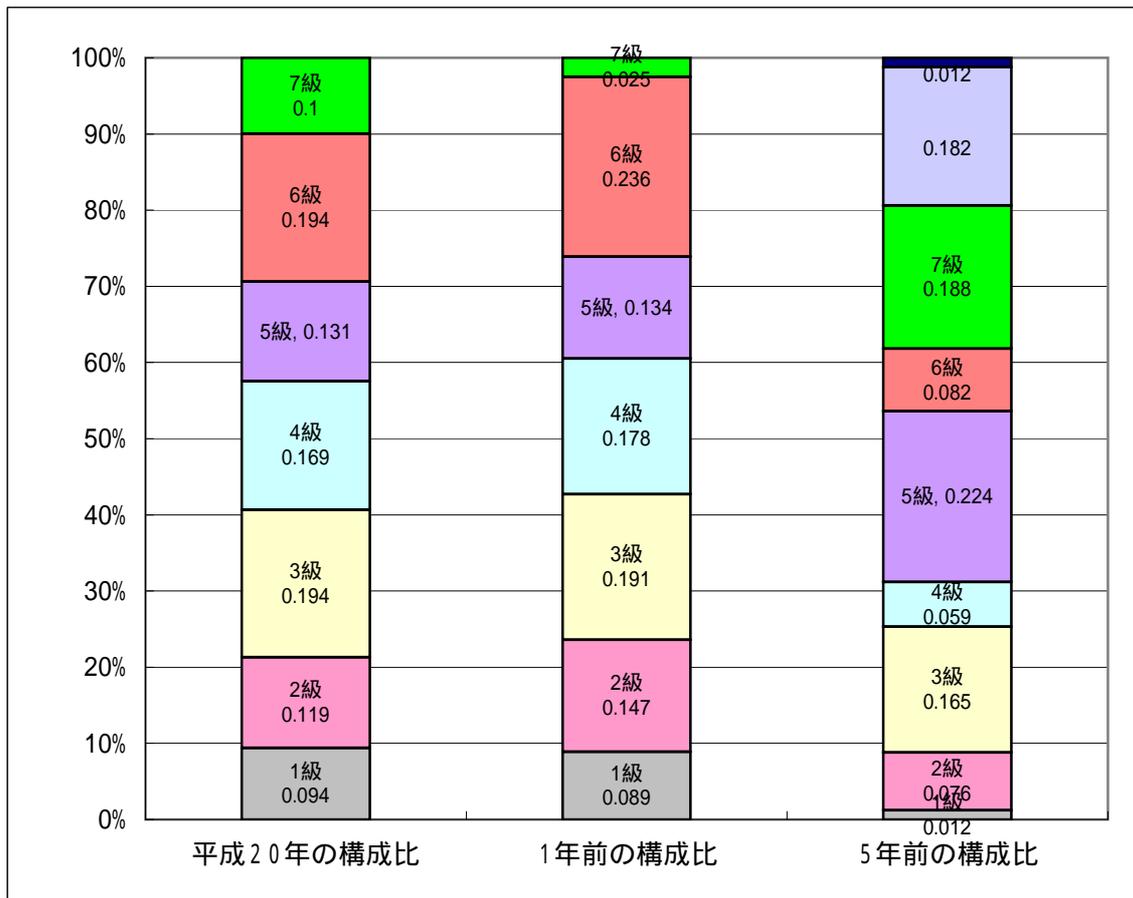
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（20年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
7級	参事、課長、政策専門官	16人	10.0%
6級	課長補佐、主幹	31人	19.4%
5級	副主幹	21人	13.1%
4級	主査	27人	16.9%
3級	副主査	31人	19.4%
2級	主任	19人	11.9%
1級	主事、主事補	15人	9.4%

(注) 1 蕨崎市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に9級制から7級制に変更している。

(旧給料表の1級及び2級並びに7級及び8級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

人事評価制度試行中のため、昇給への勤務成績の反映はしていません。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

蕪崎市		山梨県		国	
1人当たり平均支給額(19年度) 1,589千円		1人当たり平均支給額(19年度) 1,839千円			
(19年度支給割合)		(19年度支給割合)		(19年度支給割合)	
期末手当 3.0月分 (1.6)月分	勤勉手当 1.5月分 (0.75)月分	期末手当 3.0月分 (1.6)月分	勤勉手当 1.5月分 (0.75)月分	期末手当 3.0月分 (1.6)月分	勤勉手当 1.5月分 (0.75)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~20% 管理職加算10%~25%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%~20% 管理職加算10%~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

人事評価制度試行中のため、勤勉手当への勤務実績は反映していません。

(2) 退職手当(20年4月1日現在)

蕪崎市			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.5月分	30.55月分	勤続20年	23.5月分	30.55月分
勤続25年	33.5月分	41.34月分	勤続25年	33.5月分	41.34月分
勤続35年	47.5月分	59.28月分	勤続35年	47.5月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(4%加算)			定年前早期退職特例措置(2~20%加算)		
1人当たり平均支給額					
3,754千円		20,350千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、19年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当(20年4月1日現在) 該当なし

支給実績(19年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (19年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
なし	%	人	%

(注) 国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

(4) 特殊勤務手当 (20年4月1日現在)

支給実績 (19年度決算)		49,938千円	
支給職員 1人当たり平均支給年額 (19年度決算)		531,253円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (19年度)		24.30%	
手当の種類 (手当数)		5	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
市税等事務従事手当	市税等の徴収又は滞納処分事務に従事する職員	市税・住宅使用料・保育料・国民健康保険税・介護保険料等の徴収業務又は滞納処分業務	(滞納整理) 徴收件数1件につき3円 徴収金額1,000円につき3円 過年度は5円 (差押) 納税者1人につき300円 (引上) 納税者1人につき500円 (公売) 1回につき300円
放射線取扱作業従事手当	市立病院に勤務する診療X線技師	診療放射線の直接取扱業務	日額290円
細菌検査業務従事手当	市立病院に勤務する細菌検査業務に従事する職員	細菌検査の直接取扱業務	日額250円
医師の特殊勤務手当	市立病院に勤務する医師	医師診療業務 救急患者等の診療出勤業務	(医師診療) 院長:月額50万円 副院長:月額25万円 医長:月額15万円 医師:月額10万円 (出勤手当) 1回5,000円、勤務1時間につき1,000円加算
夜間、看護業務従事手当	市立病院の看護業務に従事する職員	深夜(午後10時から翌日の午前5時までの間)の看護業務	(看護師等) 4時間以上:3,200円 2時間以上4時間未満:2,800円 2時間未満:2,000円 (看護助手) 4時間以上:2,500円 2時間以上4時間未満:2,200円 2時間未満:1,600円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (19年度決算)	54,816千円
支給実績 (18年度決算)	61,596千円

(6) その他の手当（20年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (19年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (19年度決算)
扶養手当	配偶者13,000円 その他1人6,500円	同		34,028千円	237,954円
住居手当	借家(家賃月12,000円以上) 限度額月27,000円 持家月4,000円	借家同 持家異	新築、購入後5年 間に限り月2,500 円	21,299千円	113,956円
通勤手当	交通機関等利用 限度額月53,000円 自動車等利用 2～12km距離に応じ 2,900円～7,000円 12km以上1km毎580円加算	交通機関等 利用異 自動車等 利用異	限度額 55,000円 距離に応じ 2,000円～ 24,500円	20,476千円	64,592円
管理職手当	管理職員(医師含) 35,400円～117,700円	異	官職に応じ一定額 を支給	25,371千円	539,813円
宿日直手当	一般4,200円 医師20,000円 常直21,000円	同		15,338千円	319,541円

5 特別職の報酬等の状況（20年4月1日現在）

区分		給料月額等	
給料	市長	762,000円	(参考)類似団体における最高/最低額 1,010,000円 / 460,000円 800,000円 / 347,500円
	副市長	630,000円	
報酬	議長	369,000円	495,000円 / 309,000円
	副議長	345,000円	440,000円 / 251,000円
	議員	336,000円	400,000円 / 227,000円
期末手当	市長	(19年度支給割合)	
	副市長	4.45月分	
	議長	(19年度支給割合)	
	副議長 議員	3.35月分	
退職手当	市長	(算定方式) 給料月額×勤務月数×0.5	(1期の手当額) 18,288,000円
	副市長	給料月額×勤務月数×0.4	12,096,000円
			(支給時期) 任期毎 任期毎

(注)退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

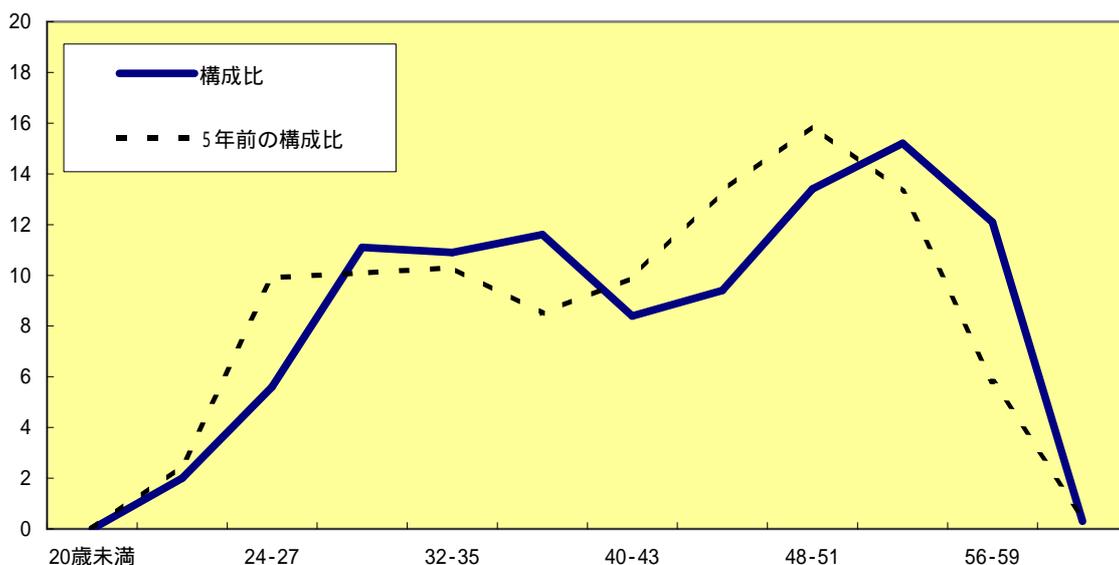
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

部門		区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
			平成19年	平成20年		
普通 会計 部門	一般 行政 部門	議会	4	4	0	役職の新設、業務増等 事務の統廃合縮小 部門変更による増等 業務増等 事務の統廃合縮小等 派遣に伴う補充
		総務	47	49	2	
		税務	22	21	1	
		民生	78	82	4	
		衛生	14	18	4	
農水		13	13	0		
商工		8	7	1		
土木		18	19	1		
	計	204	213	9	<参考> 人口1万人当たり職員数66.74人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 73.94人)	
	教育部門	41	39	2	事務の統廃合縮小、退職に伴う嘱託対応	
	小計	245	252	7	<参考> 人口1万人当たり職員数78.96人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 100.58)	
公営 企業 会計	病院	125	116	9	退職者不補充	
	水道	9	8	1	事務の統廃合縮小	
	下水	6	5	1	事務の統廃合縮小	
	その他	18	14	4	部門変更による減、事務の統廃合縮小	
	小計	158	143	15		
合計		403 [467]	395 [467]	8 [0]	<参考> 人口1万人当たり職員数123.77人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（20年4月1日現在）



(3) 定員管理の数値目標及び進捗状況

平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
426人	404人	22人	5.20%

(参考) 平成22年3月31日における定員管理の数値目標(数・率)

計画期間		数値目標
始期	終期	
平成17年4月1日	平成22年3月31日	平成17年度から5年間で22人5.2%減員する

定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

部門	区分	17年	18年	19年	20年	21年	22年	18年～	(参考)
		計画始期	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	22年計	数値目標
一般行政	職員数	213	213	204	213			-	
	増減		0	9	9			0	
教育	職員数	46	45	41	39			-	
	増減		1	4	2			7	
公営企業等 計	職員数	167	156	158	143			-	
	増減		11	2	15			24	
計	職員数	426	414	403	395			-	404
	増減		12	11	8			31	22

(注) 1 計画期間は、17年～22年の5年間である。

2 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示す。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考)18年度の 総費用に占める 職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
19年度	804,354	540	56,046	6.97	6.34

区分	職員数 C	給与費				一人当たり 給与費 D/C	(参考)類似 団体平均一 人当たり給 与費
		給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計 D		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
19年度	8	36,693	3,474	15,879	56,046	7,006	6,874

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、20年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(20年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
韮崎市水道事業	47.1歳	370,125円	566,732円
団体平均	45.5歳	374,552円	571,242円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

葦崎市水道事業			葦崎市（一般行政職）		
1人当たり平均支給額（19年度） 1,985千円			1人当たり平均支給額（19年度） 1,748千円		
（19年度支給割合） 期末手当 3.0月分 (1.6)月分 勤勉手当 1.5月分 (0.75)月分			（19年度支給割合） 期末手当 3.0月分 (1.6)月分 勤勉手当 1.5月分 (0.75)月分		
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%～15%			（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算5%～15%		

(注)()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（20年4月1日現在）

葦崎市水道事業			葦崎市（一般行政職）		
（支給率）	自己都合	勤奨・定年	（支給率）	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.5月分	30.55月分	勤続20年	23.5月分	30.55月分
勤続25年	33.5月分	41.34月分	勤続25年	33.5月分	41.34月分
勤続35年	47.5月分	59.28月分	勤続35年	47.5月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(4%加算)			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(4%加算)		

ウ 地域手当（20年4月1日現在）

4（3）を参照

エ 特殊勤務手当（20年4月1日現在）

手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
滞納整理手当	水道料等の徴収又は滞納処分事務に従事する職員	水道料等の徴収業務又は滞納処分業務	徴収件数1件につき3円 徴収金額1,000円につき3円

オ 時間外勤務手当

支給実績（19年度決算）	924千円
職員1人当たり平均支給年額	185千円
支給実績（18年度決算）	643千円
職員1人当たり平均支給年額	107千円

カ その他の手当（20年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績（19年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額（19年度決算）
扶養手当	配偶者13,000円 その他1人6,500円	同		1,102千円	157,428円
住居手当	借家(家賃月12,000円以下) 限度額月27,000円 持家月4,000円	借家同 持家異	新築、購入後5年間に限り月2,500円	516千円	86,000円
通勤手当	交通機関等利用 限度額月53,000円 自動車等利用 2～12km距離に応じ 2,900円～7,000円 12km以上1km毎580円加算	交通機関等 利用異 自動車等 利用異	限度額 55,000円 距離に応じ 2,000円～ 24,500円	230千円	32,914円
管理職手当	管理職員（医師含） 35,400円～57,600円	異	官職に応じ一定額を支給	691千円	- - 円
宿日直手当	一般4,200円 常直21,000円	同		- - 千円	- - 円